

グリップは消耗品だ

# CHANGE THE GRIP!

あなたのクラブ、  
そろそろ  
グリップ交換の  
時期ですよ！

ゴルフクラブとプレイヤーを繋ぐ  
唯一の接点「グリップ」。

だけどグリップの重要性について考えたことがないかも…。  
そんな一般アマチュアゴルファーのための連載がスタート。

第一回目は鹿又芳典さんが

グリップ交換の必要性について講義します。

OLD

経年劣化によってツルツルの状態。もしあなたのグリップがこの状態にあるならば、すぐグリップ交換をお勧めします。

NEW

表面のゴムがドライな状態でフィット感が手にじみます。

同じ  
グリップでも  
性能の違いは  
歴然！

トーナメントプレイヤーの  
グリップ交換タイミング

[男子ツアー]  
約1ヶ月～2ヶ月(最短はシーズン中2週間)

[女子ツアー]  
約1.5ヶ月～3ヶ月

握り心地が変われば  
明瞭かに変わる

理想的には1年に一度の  
グリップ交換を推奨

いつも何気なく握ってプレーされているゴルフクラブのグリップ。そのグリップですがどれくらいの期間、お使いになっていますか？恐らくですが多くのアマチュアゴルファーの皆さんのが、クラブを購入されたその日から今まで使用している、とお答えになるのではないかでしょうか。

グリップでラバー（ゴム）や樹脂といった素材で作られていますが、まず例外なく使えば使うほど表面のバターン（握り心地や滑り止め）が擦り減ってしまい、グリップ力が新品だった頃に比べて大幅に

スイング中は、主に切り返しの瞬間とインパクトでグリップに握り圧が加わります。

この握りやすい状態では、スイング全体に力を与えて

しま

い、パフォーマンスの妨げになってしまうのです。

グリップは消耗品です。一般的なアマチュアゴルファーは1年に1回を目安にグリップ交換を推奨します。また頻繁にプレーされる方は年に2回、ハイシーザンに入前の3月、8月にグリップの状態をチェックして交換していくだけだと思います。

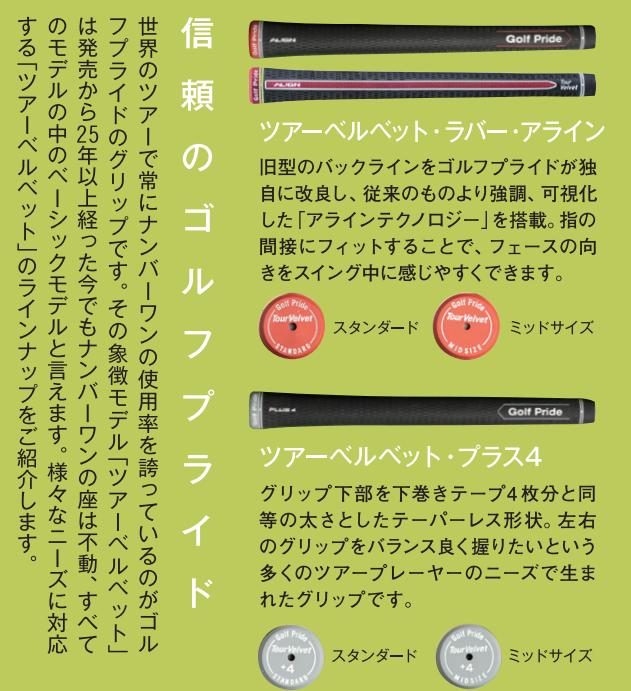
その間に経年劣化するため、自然にパフォーマンスは低下していきます。

グリップは消耗品です。一般的なアマチュアゴルファーは1年に1回を目安にグリップ交換を推奨します。また頻繁にプレーされる方は年に2回、ハイシーザンに入前の3月、8月にグリップの状態をチェックして交換していくだけだと思います。

ではグリップの交換がなぜ大切か。それはグリップの性能によつてゴルフクラブのパフォーマンスそのものが変わってしまうからです。例えば経年劣化したグリップは一般的に硬くなりがち、意識はしていないくともそれを自然とグリップから感じたプレイヤーは握り圧が強くなってしまう…。そうなればクラブの扱い方 자체が変化してしまいパフォーマンスに影響を及ぼしてしまうのです。わかりやすくいうと雨の日など滑りやすいグリップの状態だとショットがしにくく、そんな状態を作り出していくわけ。グリップは常にいい状態を維持しておきたいものです。

グリップはパーソナル単価では安価ですが、セット全てを交換するとなると、価格は嵩みますので最初はドライバー／7番アイアンなど1本の交換から試してみませんか。グリップはヘッドを軽く感じやすい。グリップ一つでクラブを探してみましょう。一般的に細かいタイプはヘッドを重たく感じやすく、太いタイプはヘッドを軽く感じやすい。グリップ一つでクラブ全体の印象がガラリと変化することを体感でき、「自分にとってどんなタイプが最適か判断しているただきたい」と思います。

## 信頼のゴルフブライド



### 講師／鹿又芳典

かのまたよしのり、多くのゴルフメディアでクラブの解説を行う。本業は自身が経営するゴルフショッピングマジックでのフィッター＆クラフトマン。日々ゴルファーのニーズに応えたギアを提供している。



#### ツアーベルベット・ラバー・ライン

旧型のバックラインをゴルフプライドが独自に改良し、従来のものより強調、可視化した「アーテクノロジー」を搭載。指の間接にフィットすることで、フェースの向きをスイング中に感じやすくなります。

#### ツアーベルベット・コード

「ツアーベルベット」がベースに、コード材(糸)が練りこまれて硬度が高いタイプです。しっかり目に握られるキャラリアが長いベテランゴルファーに愛されています。

#### ツアーベルベット・プラス4

グリップ下部を下巻きテープ4枚分と同等の太さとしたテーパーレス形状。左右のグリップをバランス良く握りたいという多くのツアープレーヤーのニーズで生まれたグリップです。

#### ツアーベルベット・ラバー360

ドライバーのロフト／ライ調整機能に対応したグリップです。グリップ状にロゴがないためシャフトの向きが回転しても違和感なく握ることができます。

様々なニーズに対応する「ツアーベルベット」のラインナップをご紹介します。